

※株式会社リクルート キーマンズネットに2009年08月03日に掲載された記事より転載
掲載されておりますサービス内容、料金などは、掲載日または更新日時点のものです。

掲載日：2009/08/03



不可能だとあきらめていたものが…

複数の企業間でも WEB会議をカンタンに実現できる

「IntelliVoice MINC」



その評価を、
導入検討中の企業5社に、
WEB会議で突撃取材！

コミュニケーションの深化、時間とコストの削減、意思決定のスピードアップなど、多くのメリットを得られるWEB会議システム。しかし、現在は自社内のみで利用している企業が大多数だろう。もし他の企業ともWEB会議システムを活用できれば、更に大きなメリットを得られるが、各社のセキュリティの違いを考えると難しいのが現状だ。

しかし、この常識を覆して、多企業間でのWEB会議を低コストで実現した製品が遂に登場。インテリボイスの『MINC』のオプションサービスである『MINC 会議サービス』だ。

今回は実際に『MINC』の導入を検討している5社をWEB会議で相互接続し、検討理由と現段階での評価を伺った。

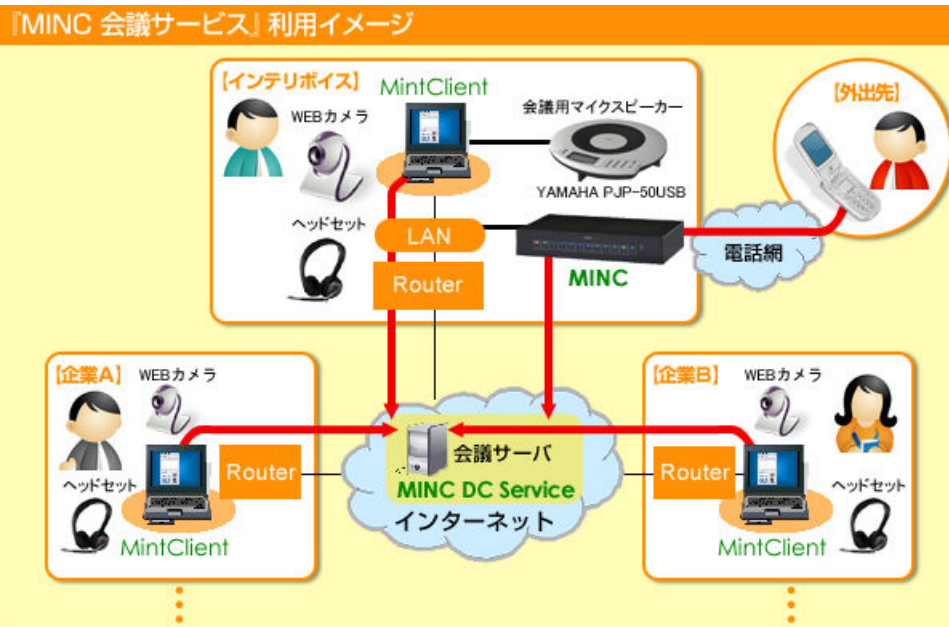
INDEX

- ▼ ソフトウェアのインストールのみで、簡単・手軽にWEB 会議を実現！
- ▼ 規模、業界も異なる5社がWEB会議に集結！突撃取材スタート！
導入検討中の企業に「MINC」の評価を聞く1 ただ今検討中！
導入検討中の企業に「MINC」の評価を聞く2 評価ポイントはココ…
- ▼ 特許申請中の新技術《ファイアウォール/NAT越え》とは！？
- ▼ 自動で画面が切り替わる！発言している人が一目瞭然！！
- ▼ カンタン・気軽、しかも低コストで導入できる
- ▼ アンケート（プレゼント付）

ソフトウェアのインストールのみで、簡単・手軽にWEB会議を実現！

はじめに『MINC』についてご紹介したい。『MINC』は公衆回線や内線端末の制御と通話品質確保のためのソフトウェアを搭載した、オフィス用電話システムだ。端末（電話機など）選択の自由度が高く、ソフトフォンのほか、様々なメーカーのIP電話機を使用可能で、イニシャルランニングの両面で大幅にコストを削減し、快適・便利なビジネスコミュニケーションを実現する。今回ご紹介する『MINC 会議サービス』は、『MINC』のオプションサービスの1つで、最大64通話までの音声会議、最大10名までのテレビ会議が可能。

多企業間でのWEB会議を実現した今回のシステム構成は下記図の通り。各企業が行ったのは、ソフトウェアのインストールのみで、簡単・手軽に多企業間でのWEB会議を実現している。



企業規模、業界も異なる5社がWEB会議に集結！突撃取材スタート！

今回、取材に協力していただいた企業は合計5社。簡単に参加メンバーをご紹介します。

① 中村 健 (株)インテリボイス 代表取締役社長
 ② 赤池 大介 (株)アイシーティスポーツ 代表取締役 <http://www.ict-sports.com/>
 ③ 岡部 雅人 ウイングアーク テクノロジーズ(株) シニアITエンジニア <http://www.wingarc.co.jp/>
 ④ 渡辺 武昭 ウイングアーク テクノロジーズ(株) マネージャー
 ⑤ 住吉 慶彦 (株)ジーベックテクノロジー 代表取締役社長 <http://www.xebec-tech.co.jp/>
 ⑥ 中村 健一郎 (株)シャノン 代表取締役 <http://www.shanon.co.jp/>
 ⑦ 廣田 優輝 (株)ゲットイット 代表取締役 <http://www.get-it.ne.jp/>

導入検討中の企業に『MINC』の評価を聞く！ ← ただ今検討中！

Q. まずは『MINC』の導入を検討している理由を教えてください。



赤池氏

弊社は、スポーツマーケティングのビジネススクールを展開する中で、全国にスポーツビジネスに興味を持っている方がいることを痛感しました。そこで、3年前からネットを使ったヴァーチャルスクールの企画をスタート。最初は通信講座なども考えましたが、リアリティに欠けると思い、より質の高いコミュニケーションが図れる方法を探している時に『MINC』と出会いました。

岡部氏・渡辺氏

弊社では既に、他拠点との会議の手段として専用線を使ったTV会議を導入していますが、定期的な会議が増え、使用率が上昇。その結果、会議室がとりづらいという問題が顕在化しました。また今年、中国法人を設立した関係で、海外拠点とのやりとりが増加し、WEB会議の需要も高まってきたので、既存のシステムにプラスして補完できるシステムがないか、製品の検討を開始しました。

住吉氏

弊社は営業拠点が東京、開発拠点が長野にあり、情報交換のため、2か月に1回、営業メンバー全員で長野へ行っています。WEB会議を導入することで時間とコストを削減し、いつでもカンタンに会議を行える環境を整えることで、情報共有の密度も高めたいと考えました。また、機械加工用の工具の開発をしているので、試作品やその実験データを見ながらディスカッションをする必要があります。そのため、海外パートナーとも、顔をつきあわせ、かつデータを見ながらの会議を可能とする製品を探しはじめておりました。



中村氏

弊社では在宅勤務の開発エンジニアと決まった時間でMTGを持ちたいと考えていました。既に音声会議システムは使っているのですが、映像があることでコミュニケーションの質も高まると思い、WEB会議システムの導入検討をスタートしました。



廣田氏

弊社は海外拠点とのやりとりを、音声だけではなく顔をみながら行うことで、コミュニケーションの質を高めたいと考えたのが『MINC』の導入を検討している理由ですね。

導入検討中の企業に『MINC』の評価を聞く2

評価ポイントはココ…

Q. では『MINC』を実際に検証してみた感想をお聞かせ下さい。

赤池氏

『MINC』は「10人規模で通信でき、双方向でディスカッションができる」更に「ネットでグラフなどを交えながら教えることができる」というところが、新しいビジネスの内容にピッタリでした。画像と音声の質にはとても満足しており、今年の9～10月あたりから、『MINC 会議サービス』を活用して、本格的なサービスを提供していく予定です。



岡部氏・渡辺氏

システムの用途としては、本社・各支社と関連会社とのやりとりを中心に、アライアンスを組んでいる企業ともWEB会議を行いたいと考えています。しかし各社ともセキュリティが異なるので、『MINC』がファイアウォール/NAT越え(※)を容易にできるというところはポイントが高いです。また海外拠点とのやりとりを考え、言語の違いを埋める機能、マーキング・補填、技術情報の共有(チャット機能)は必須だと考えているのですが、『MINC』にはWEBブラウザを利用したホワイトボード機能などがあり、この点もクリアしています。現在、複数のシステムを比較・検討している中で、音声は一番クリアでタイムラグがなく、レスポンスが速いですね。

中村氏

WEB会議システムを使用すると、様々な障害が発生して他の業務にも悪影響を及ぼすのでは…と思っていましたが、実際は社内ネットワークへの負荷もなく、問題なく使えていますね。複雑な設定を行わなくても、ファイアウォール/NAT越え(※)が容易にできたのには驚きました。手間が掛からないので、導入がカンタンで非常に良いと思います。



中村社長による解説コメント — その1

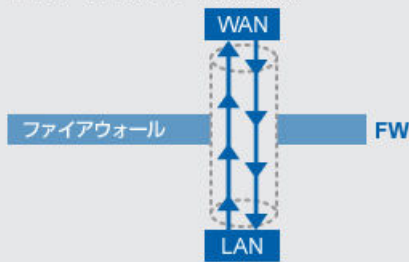
特許申請中の新技術 《ファイアウォール/NAT*越え》とは!?

※Network Address Translation



いまやファイアウォールやNATといったセキュリティ対策が施されていない企業ネットワークはありません。これまでのソフトフォンの中には、ファイアウォールを越えるために複雑な設定が必要だったり、ポートをオープンする必要のあるものが多くありました。そこで私たちは、利用する企業の『守りは固くしたいけど、他社との通話も行いたい』という矛盾を、独自のトンネリング技術(現在特許申請中)によって、内部ネットワークの安全性を確保した上で解決したのです。トンネリング技術のほかにも、MD5によるユーザ認証、独自のアプリケーション連携プロトコル、音声、画像、呼制御情報などすべてのパケットのカプセル化と暗号化などによって、通信経路上の安全性は確保しています。これらの技術により、拠点内はもちろん、拠点間、企業間でも、グローバルな使用が可能です。

■インテリボイスのトンネリング技術



トンネリング技術は、ファイアウォールの“内部から外部の通信を許可し、その通信への応答に関してのみ、外部からの通信を受け入れるという動作を自動的に行う”という特性を利用。本来、この特性が適用されるのは、限られたわずかな時間だが、この回路を保ち、同時に不要なデータを差し込まれないように経路全体を暗号化する。これによりセッションが存在するように見せかけ、双方向でのセキュアな高速データ通信を可能にした。

住吉氏

去年から複数のシステムをテストしていますが、『MINC』はセキュリティ・コスト・操作性の3点が特に優れており、大きな魅力を感じています。また、いきなり大きな投資をするのではなく、まずはコストをかけずに小規模からスタートして、徐々にバージョンアップできるものを導入したいと考えていたので、その点でも『MINC』はそのニーズにマッチしています。

廣田氏

実は、今日初めてWEB会議システムに触らせてもらいました。現在は音声会議システムを使っていますが、正直な感想としては、コミュニケーションの観点から画像があるのは、やっぱりいいと思いました。喋っている人が自動的に真ん中の画面に切り替わるのも良いですね(※)。操作性はシンプルで分かりやすいので、とても気に入りました。

